

競争ルールの検証に関するWG（第30回）に関する追加質問事項

※本回答（赤枠）は「構成員限り」としていただくようお願いします。

3-2 第30回会合において、CIAJから「一部特定機種的大幅値引きが端末メーカー間の競争を歪めている」旨の意見がありました。これに関連し、2021年度決算における、貴社の端末ビジネス収支の、端末メーカーごとの収支状況を教えてください。個別のメーカーごとが難しければ、最も費用額が大きい端末メーカー名と、当該メーカーにおける収支の差を教えてください。

（北構成員）

（ソフトバンク回答）

4-1 第29回会合で、「スタッフの稼働が増えているとの声があるが、こうした状況について認識しているか」という質問に対して、各キャリアから異口同音に、「店頭稼働時間は減少している」「稼働への対価はお支払いしている」「ご指摘の状況については特段認識していません」「稼働の増加はないものと認識しております」といった回答であったところ。

これに対して、第30回会合で、全携協からは、店頭スタッフへのアンケート結果として、稼働が前期比で「増えている」が76%、「変わらない」が21%、「減っている」が3%というデータが示されるとともに、「稼働の増加に応じた手数料等の見直しについては、出張販売の増加に応じた支援は一部ございますが、直接連動したものは特にございませぬ」という回答があった。

なぜキャリアと代理店間で、これほど大きな認識の乖離が生じているのか、その原因についてのお考えと、この乖離を埋めるためにはどうすれば良いかをお示しいただきたい。

（北構成員）

（ソフトバンク回答）

